

平成27年
1月号
校長室

新年あけまして
おめでとうございます
本年もみなさまにとつて
幸多き年でありますよう
お祈り致します



じめ地域が今日まで
守り続けて参りまし
た。また、古き歴史
の中、良き校風と伝
統を重んじ数多くの
有識者を輩出し権威
ある学校です。

このような伝統ある校風を継承し、在籍数百三十八名の児童とともに職員一枚岩となつて日々の教育活動に邁進していく所存でございます。

今後とも保護者・地域の皆様の多大なるご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十七年 元旦

平成二十六年度三学期が

スタートしました。年末・年始・年末休日で大きな事故・事件等もなく安堵しています。

て過ぎされたのでは
ないでしょうか。お
子様にとつて、ご家
族揃つての一家団ら
んの時が一番幸せな
ことです。子どもの
健やかな成長を願い
良き年を迎え、皆様
のご健康をお祈りし

ます。

さて、本年度、三学期は、五十日間と一年で最も短い学期です。六年生にとつては小学校生活最後の学期であり、中学校進学という節目を迎え本校を巣立ってきます。どの子もたくましく成長し誇りに思う六年生、素晴らしい活躍を見せ学校の模範的存在になっています。

彼らの残した数々の良き校風をまた後輩たちがしつかりと受け継いでいくでしょう。私たち職員も常に謙虚な姿勢で子どもたちと過ごしたいと思っています。



2年生 伊波 光咲さん



6年生 知花 瑠南さん



4年生 松田 龍希さん



4年生 本田 琉奈さん



写真が小さくてごめんなさい



六年生知花 志音さん

二十一世紀型教育の推進

ることが必要である
と示されています。

中央教育審議会の
答申は、今後の学校
教育の在り方の方向
性、学習指導要領の
改定を意味していま
す。

アクティブ・ラーニングを端的に言う
と教師による一方的
な講義型ではなく、
子どもの協働的学び
を充実させ、学習者
型の授業スタイルの
総称です。これは、
今、本村教育委員会
を中心として、国頭
村の全小中学校が取
り組んでいることと
合致しています。

平成二十六年、十一月二十日に文科省中央教育審議会より「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の答申がだされました。それによると、今後の教育の在り方として、「何を教えるか」という知識の質や深まりはもちろんのこと、「どのよう^にに学ぶか」という、「学び」の質を重視し、課題の発見、その解決に向けた主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブ・ラーニング）を充実させ

「二十一世紀型教育の推進」として「学びの共同体」の理念に基づいた授業改革が今後、益々重視されることが言えます。

今、辺小の子どもたちは、もの凄く伸びてきています。取り組んでいることに揺らぐことなく、進みたいと思います。